

尚志

— 志高く —



【黎明生の軌跡（過去12年分の主な進路実績累計）】

<国公立大学> ※東北地方の大学及び難関大学のみを掲載
 東北大48(9) 北海道大3 弘前大19(2) 岩手大64(10)
 秋田大12 宮城教育大38(7) 山形大68(5)
 福島大20(1) 横浜国立大4 筑波大4 千葉大12(1)
 東京大2 京大1 東京工業大2(1) 東京外国語大1
 東京学芸大5(1) 名古屋大1 新潟大10 金沢大3
 立命館大12(6) 国際教養大2 福島県立医科大2 ほか
 合格累計461名

<私立大学>
 早稲田大18(1) 慶応大1 上智大1 明治大26(3)
 中央大38(6) 法政大22(5) 立教大16(3)
 学習院大5(1) 東京理科大14(5) 日本大59(4)
 東洋大30(1) 駒澤大21(4) 専修大19 関西学院大2
 立命館大12(6) 同志社大6(1) 岩手医科大3 北里大5
 東京農業大2 ほか

<医学部医学科> 国公立大4 私立大4(3)
 ※数字はすべて延べ人数で浪人生については判明分
 ※()はその年度に在籍していた浪人生の数(内数)



進路資料閲覧室での自学風景



38名収容の自習室(冷暖房完備)



全国の大学入試過去問題集



先輩方からの門外不出の受験報告書



みんなで目標に向かって頑張る雰囲気



なごやかな雰囲気の進路相談

過去3年間の卒業生の進路

進路先	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	(R2.3卒業生)	(R3.3卒業生)	(R3.3卒業生)	(R4.3卒業生)	(R4.3卒業生)	(R4.3卒業生)
国公立4年制大学	47	43	61	50	45	40
私立4年制大学	301	117	310	122	297	114
国公立短期大学	2	1	2	2	4	2
私立短期大学	5	5	14	6	18	13
大 学 校	2	2	1	1	2	1
専修・各種学校	45		36		33	
公 務 員	2		1		10	
民 間 就 職	3		2		5	
進 学 準 備	9		12		10	
その他(海外進学)	0		0		2	
卒 業 者 数	227		232		230	

【令和3年度卒業生の主な大学の合格者数(延べ数)】

<国公立大学>
 北海道教育大1 弘前大2 岩手大3 東北大3 宮城教育大5
 秋田大2 山形大5 福島大1 茨城大1 宇都宮大1 群馬大1
 千葉大1 電気通信大1 金沢大1 青森公立大1 岩手県立大1
 宮城大4 会津大1 福島県立医大1 高崎経済大2 横浜市立大1
 新潟県立大2 山梨県立大2 都留文科大1 高知県立大1

<私立大学>
 岩手医科大1 石巻専修大6 東北学院大64 東北工大9
 東北福祉大70 東北医科薬科大7 宮城学院女子大48
 仙台白百合大8 東北文化学園大12 尚絅学院大21
 国際医療福祉大2 文教大3 青山学院大1 北里大3 駒澤大3
 芝浦工大2 成蹊大1 専修大2 中央大3 東海大4
 東京理科大1 東洋大1 日本大5 明治学院大1 京都産業大2
 京都女子大1 同志社大3 立命館大1 関西学院大1 ほか

<看護専門学校>
 仙台医療センター看護助4 東北労災看護2 石巻赤十字看護1
 気仙沼病附看護3 葵会仙台看護3 JR東京総合看護1
 埼玉医大看護1 昭和大医附看護1 ほか

◎先輩の活躍

対談
兵藤秋穂さん
 (筑波大学大学院)

V S

木村秀一先生
 (前進路指導部長)



木村 今回、教育実習に来ていることから、将来は教員になろうと考えているのですか。

兵藤 今のところは、選択肢の一つとして考えています。今は陸上競技を続けたいという気持ちでいます。それもあって、大学院に進学することになっています。筑波大学の先輩たちも競技をある程度続けてから教員の道に行く方が多いです。一度企業に就職した後に教員になる方も多いです。

木村 教員になりたいと思ったきっかけは何ですか。

兵藤 部活動で顧問をされていた先生が体育の教員だったことが一番大きいです。授業はもちろんのこと部活動においても人として成長させて頂いたことが大きかったです。人に影響力を与えられて、かつ自分の好きなスポーツに長く携われる仕事がしたいということで体育の教員を目指すようになりました。

木村 兵藤さんは、筑波大学に推薦入試で合格しましたが、受験に向けてどのように準備をしましたか？

兵藤 1つ目は、3年生のインターハイ、国体、日本選手権兼U20の大会でベスト16以上の結果が残せるように槍投げ競技の力を高めました。2つ目は、推薦入試で課せられる小論文への対策として、先生方に添削指導をして頂きました。1つの課題に対して4~5回書き直しました。もうこれ以上添削のしようがないというくらいまで、書き直しました。それを過去9年分やり直しました。課題に対して「文章をこういう風に組み立てれば、こうまとめられる」というように、文章の構成がすぐに構想できるようにになりました。ほぼ毎日、担当の先生のところへ添削指導を受けた記憶があります。

木村 そのことは、今の兵藤さんにとってどのように役立っていますか。

◎卒業生からの声



大坂 連太
 (古川南中出身)
 山形大学
 人文社会科学部
 総合法律・地域公共政策・
 経済マネージメントコース

古川黎明高校の魅力といえば、生徒一人一人が多量のチャンスを得る環境であることです。これには生徒自身の主体性や向上心などが関わってきますが、進んで行動を起こした生徒に対して、たくさんの先生方、または学校全体が手厚く最後までサポートしてくれます。

勉学・部活・行事などでは多くの生徒が人前に立つという機会を経験でき、自分の「個性」を十分に発揮できることも古川黎明ならではの魅力であると思います。

また中高一貫校と聞いて、少し不安になる方もいるかも知れませんが決して不安になることはありません。先生方全員が生徒一人一人に親身になって寄り添ってくれます。

私自身も進路選択の際、紆余曲折によりかなり困難に立たされていましたが、担任の先生をはじめ多くの先生方がどんな時でも、そして最後の最後まで全力でサポートしてくれました。生徒自身が主役となるこの古川黎明高校でみなさんも楽しんでみませんか？



今野 メイ
 (古川黎明中出身)
 同志社大学
 法学部 法律学科

古川黎明高校には、勉強のみならず部活動や生徒会活動、行事などさまざまな面で充実した学校生活があり、成長できる機会に溢れています。生徒一人ひとりが諸活動に意欲的に取り組んでいるため、良い刺激を受けることができ、日々仲間と切磋琢磨しながら学校生活を送ることが出来ます。そして、さまざまな分野の講演会やSSH関連の諸活動は、興味関心の幅を広げることに繋がります。進路決定にも役立ちます。

また進路指導では、先生方が生徒一人ひとりに合わせた丁寧な指導をしてくれます。充実した課外授業や論文問題等の個別添削のおかげで、伸び悩んでいた学力を大きく伸ばすことができました。精神的に辛い時にも親身になって相談に乗ってくれ、進路達成に向けての道標を立ててくれました。

これらの古川黎明高校での経験は、何物にも変えがたい宝物になりました。皆さんも古川黎明高校で一生の思い出を作りませんか？



三浦 淳志
 (古川黎明中出身)
 東北大学
 工学部
 機械能航空工学科

古川黎明高校は多様性に溢れる高校です。学業の面では各生徒が設定した進路を達成するためのシステムや先生方のサポートが充実しています。生徒が自分自身と向き合い、それぞれ異なる多様な進路に向けて成長することができる環境が整っていると思います。また部活動では生徒たちが主体的に活動に取り組んでいく雰囲気が長年に渡って醸成されてきたと考えています。そのため各部活動によって雰囲気は全く異なり、それぞれ特色溢れるものとなっています。私は古川黎明高校において部活動、学業の両方で有意義な時間を過ごすことができました。特に受験勉強期間に第一志望合格に向けて仲間たちと切磋琢磨したことは私に進路達成と共に内的な成長をもたらしてくれました。

これらに加えて古川黎明高校の大きな特色は中高一貫校であることです。このため広い地域からさまざまな人が集まってくる。また中学校と協力して生徒会や学校行事を行う事もあります。このように貴重な体験をすることができる古川黎明高校で皆さんも充実した高校生活を過ごしてみませんか？

兵藤秋穂さん(2018年3月本校卒業)
 古川黎明中→古川黎明高→筑波大学 体育専門学群
 中学校:バレーボール部、高校:陸上競技部やり投げ種目
 筑波大学では、陸上競技部に所属し、2020-21年度に陸上競技部主将を務めた。
 主な成績:
 2018 アジアジュニア4位、日本インカレ7位
 2019 関東インカレ2位、日本学生個人2位
 2020 関東インカレ優勝
 2021 関東インカレ4位、日本学生個人3位
 日本インカレ8位

兵藤 文章を書くことに自信が持てるようになりました。筑波大学のスポーツに関わるPRの部局で活動していて、記事を書いたりする際に活かされています。

木村 大学ではどのようなことを専門として勉強しているのですか。

兵藤 ゼミ研究室では、コーチング論トレーニング学領域に所属しています。その中でも大学スポーツに特化した研究をしている先生のところに所属しています。私の研究内容は「大学スポーツにおけるオンラインメディアを活用した広報活動の現状について」です。大学スポーツの魅力を社会に向けて発信していくという内容です。実際にアメリカに行き、大学スポーツの研修に参加しました。日本では研究している人も少ない領域です。研究を突き詰めていくと本当に時間が足りないです。

木村 兵藤さんにとって黎明とは何ですか？そして後輩へのメッセージをお願いします。

兵藤 黎明に入学してたくさんのお出会いと挑戦と学びがありました。自分が「将来こうしたい」「こういう人生を歩みたい」ということへの道をつくることができた6年間の生活でした。ここでの経験が現在の自分をつくっていると思います。この黎明で過ごす3年間または6年間は、他の学校にはない経験ができます。いろいろな人との出会いや仲間との切磋琢磨、先生方の手厚い指導、そしてSSH指定校ならではの各種の講演や課題研究などがあります。私の大学での研究や生活に活かされている学びが黎明にはたくさんあります。ここで過ごしていることを誇りと自信にして、先のステージに進んで欲しいと思います。

— (2021年10月27日 教育実習時に収録)